

# アンサンブル

男女共同参画情報紙 第35号  
令和3年6月 地域活動支援課 発行

タイトルの“アンサンブル”は、フランス語で「一緒に。」男女が共に考えていく新しい未来のために、との想いが込められています。アンサンブルは、1996年から不定期で発行しています。

## 今を生きる女性特集 令和時代に輝く

### 女性人材リスト登録状況・審議会等における女性登用率状況

多様な意見を市政に反映するため、飯能市では平成31年から「飯能市女性人材リスト登録事業」が始まり、現在、20名を超える方が登録しています。

令和2年度には、市の審議会などの女性比率を23.1%(令和2年4月1日現在)から30%以上に推進することを目標に、「女性活躍座談会 ～cafe ミーティング～」を実施し、そこから飯能市初のフードバンクボランティア団体の「TEAM OF DRAGON」が誕生しました。



3月にスタートした  
フードバンクボランティア  
TEAM OF DRAGON  
代表 重永 富子さん

### TEAM OF DRAGON代表の重永富子さんに話を伺いました

#### フードバンクボランティアを立ち上げたきっかけとは

これまで私を支え、携わってくれた地域の方へ恩返しをしたいと思ったことがきっかけです。フィットネスボクシングインストラクター資格の取得を目指していた頃は、まだ、子どもも小さく、近所の方に助けていただきました。レッスンの時も、地域の方に子どもの見守りをしてもらい、とても助かった経験があります。地域の方々が自分に親切にしてくれたように、自分も地域の方へ何か還元できることはないかと考え、今必要なこととして、フードバンクボランティアを結成しました。

#### インストラクターとして活躍されるその原動力とは

皆さんの笑顔ですかね(笑)。みんなで楽しみ、一人ができるとみんなが拍手して互いを敬う心を持っている。やはり笑いが起きる場は自分も笑顔になる。みんなの笑顔に助けられています。

#### 女性であることでの辛い経験や苦しいことはありましたか

「夫の意見によりレッスンに通えなくなってしまった」という女性がいました。夫は妻が楽しいことをしていることに

嫉妬する家庭が多いように感じました。「夫の許可がないと外に出られない」という人もいました。私は、このように女性が仕方がなくサークルを辞めていく姿を見て、とてもショックだったのを覚えています。どうして、自分の人生を自分で選ぶことができないのか、相手に自分の意見を伝えられないのかが不思議でした。

#### 女性が自分のやりたいことを実現するために必要なこととは

配偶者やパートナーに限らず、相手に何かを伝えることは権利であり、個人の自由だと思います。日本に関して言えば、女性の立場はまだまだ弱い部分があるので、男女平等を幼い頃からの教育の中で伝えていくことが必要です。

#### 市民の皆さんへ

若い方へ伝えたいことがあります。1人でもいいので、尊敬する人を見つけてください。そして夢と目標を持ってください。それに向かって努力することは、社会に出て生きていくための糧となります。

## 6月23日～29日は男女共同参画週間です

令和3年度内閣府「男女共同参画週間」**「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」**キャッチフレーズ

飯能市では「誰もが 互いの人権を尊重し 個性と能力を十分に発揮できるまち 飯能」を基本理念に第5次飯能市男女共同参画プランを推進しています。

### 暮らしに身近な自治会における男女共同参画状況

現在、134自治会ある中で女性の自治会長は2人です。実際の活動には多くの女性が参画していますが、意思決定の場における男女の比率はアンバランスな状況です。



美杉台4丁目  
自治会長を務めた  
大久保桃絵さん

### 平成27年度から2年間 自治会長を務めた大久保桃絵さんに話を伺いました

#### 大久保さんにとって自治会活動とはどのような存在か

行政サービスが住民に行き渡るための役割を担っていると思います。また、地域の情報の発信源となる存在だと思います。住み心地の良い街には自治会活動が大いに関係していることを実感しています。

#### 自治会長になったきっかけとは

子どもたちの学校のPTA会長を務めたことで自治会に縁ができ、美杉台フェスタの実行委員長を務めた経験がきっかけとなりました。

#### 自治会長を担うにあたっての家族など周りの人の協力は

家族はもとより、周りの役員の方々が支えてくださいました。その時のメンバーと共に活動することができました。会長を務めて2年目のときは、協力してくださる方が増えてありがたかったです。

#### 仕事と家庭と自治会長の両立について

平日に開催される会議に出席するための調整が大変でした。自治会長を引き受けるという決断は、家族に反対されることが多いのではないのでしょうか。男性でも「妻に怒られるから自治会長はできない」という方がいました。家族が自治会長になると、家事と子育ての役割分担が変わってしまうことも理由の1つではないかと思っています。

#### 女性自治会長になって良かったこと

ささいなことでも相談されることが増えたことです。主婦目線でのサービスの提供で自治会活動をより身近に感じてもらうように思います。おかげでちょっとしたことでも気軽に相談していただけるようになりました。

#### 飯能市の女性自治会長が少ないことについて

今後は老若男女問わず、さまざまな視点で地域を見ていかないと、自治会のサービスは行き届かないのではないかと感じます。

#### 令和時代の自治会について

これからの時代は、性別を意識することなく参加できる組織であることが理想です。自治会長職も、女性が会長になったら、周りがフォローする体制ができれば、十分に務めていくことができるのではないのでしょうか。女性が会長になっても同様に周囲がサポートをする体制を作ることが大事だと思います。

#### 市民の皆さんへ

女性が活躍できる場をもっと増やして行く必要があります。それは自治会だけでなく、社会全体にも必要なことだと思います。老若男女みんなで社会について考えて動かなければいけない時期ではないかと感じます。

### 男女共同参画週間関連情報

【おすすめの映画の紹介】『ピリーブ 未来への大逆転』 監督/ミミ・レダー 主演/フェリシティ・ジョーンズ  
物語の舞台は、1970年代のアメリカ。女性が職に就くのが難しく、自分の名前でクレジットカードさえ作れなかった時代。弁護士であるルース・ギンズバーグが史上初の「男女平等」裁判に挑む。彼女は、「勝目はない」と断言された上訴に踏み切り、どのようにして大逆転を成し遂げたのか？女性弁護士としてどんなに周りから無謀だとされても、男女の対等な権利に対して声を上げ続ける、そんな姿から目が離せません。

☆ドキュメンタリー映画「RBG 最強の85才」(監督/ベツツイ・ウェスト ジュリー・コーエン) こちらも必見です！

85歳で最高裁判所判事として活躍した女性RBGことルース・ベイダー・ギンズバーグに迫ったドキュメンタリーです。



### 【男女共同参画週間展】

図書館会場	内容	男女共同参画関連図書特設コーナー
	期間	5月29日(土)～6月24日(木)
	場所	図書館
市民活動センター会場	内容	男女共同参画に関するパネルの展示等
	期間	6月23日(水)～7月4日(日)
	場所	飯能市市民活動センター(丸広百貨店7階)

※アンサンブルに掲載しきれなかった内容は、飯能市ホームページの男女共同参画のトピックスへ掲載します。

### 【おすすめの図書の紹介】

男女共同参画に関する本で、男女の平等について考えてみましょう。

- ・男性育休の困難 取得を阻む「職場の雰囲気」  
著:齋藤早苗
- ・女の子はどう生きるか  
著:上野千鶴子